

認定請求事例①

亙理中 第 〇〇号
平成〇〇年〇月〇〇日

亙理町教育委員会
教育長 〇〇 〇〇 様

亙理町立いちご中学校
校長 宮城 太郎

公務災害認定請求書について（進達）

このことについて、本校 教諭 亙理太郎から別紙請求書の提出がありましたので送付いたします。

亙理町立いちご中学校 担当：〇〇 〇〇 T E L 0223-34-1234 F A X 0223-34-1235
--

公務災害認定請求書

*認定
番号

地方公務員災害補償基金宮城県支部長 殿 <div>宮城県を忘れずに記入</div> 下記の災害については、公務により生じたものであることの認定を請求します。		請求年月日 平成〇〇年〇月〇〇日 (〒 989-2421) 請求者の住所 山元町〇〇8丁目3番1号 氏 名 わたり たらう 亘理 太郎 (亘理) 被災職員との続柄 本人
		所属団体名 宮城県 (教育委員会) 所属部局・課・係名 (電話 0223-34-1234) 亘理町立いちご中学校
1 被災 職員 に 関 する 事 項	共済組合員証・健康保険組合員証記号番号 公立宮城 第 4021231040 号	
	氏 名 わたり たらう 亘理 太郎 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 平成 2年12月31日 生 (〇〇歳)	
	職 名 教 諭 <input checked="" type="checkbox"/> 常 勤 <input type="checkbox"/> 常勤的非常勤	
	災害発生の日時 平成〇〇年 〇月〇〇日 (〇曜日) 午前 午後 5時15分 ごろ	
	災害発生の場所 亘理町〇〇3丁目1番5号 亘理町立いちご中学校 野球場 ← 施設名だけではなく所在地まで記入	
	傷 病 名 左目險挫創 ← 診断書の傷病名と一致すること	
	傷病の部位及びその程度 左目險 初診から12日間の療養 ← 診断書から移記	

* 受 理	平成 年 月 日	* 認 定	平成 年 月 日
* 通 知	平成 年 月 日		<input type="checkbox"/> 公務上 <input type="checkbox"/> 公務外

〔注意事項〕

1 請求者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。

2 「職名」の欄には、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。


3 「2 災害発生の状況」又は「* 5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、本欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。

4 「* 5 任命権者の意見」の欄中「」には、下記の16種類の区分番号を記入すること。
01 医師・歯科医師 02 看護師 03 保健師、助産師 04 その他の医療技術者 05 保育士・児童自立支援専門員・寄宿舍指導員等 06 船員 07 タイピスト・キーパンチャー 08 電話交換手 09 調理員 10 道路補修員 11 養護学校教員 12 養護 学校教員以外の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃業務員 16 その他の職員

5 「請求者の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができる。

2 災 害 発 生 の 状 況	私は、自己の職務であるソフトボール部の部活動指導のため、平成〇〇年〇月〇〇日 〇	
	曜日午後4時30分頃、亙理町〇〇3丁目1番5号いちご中学校野球場東側のソフトボール	
	練習場所に行きました。同日午後5時15分頃、私は、一塁側ベンチの前に立ち、生徒がフ	
	リー打撃（ピッチャーがボールを投げ、それをバッターが打撃することで打撃と守備の技術	
	を図る練習）をしているのを見ていた時、右バッターボックスで打撃していた打者のファウ	
	ルしたソフトボールが、ノーバウンドで私の顔面左目上部に当たりました。その時、私が着	
	用していたメガネの金具部分により、左眼を切り、出血してしまいました。	
	直ちに職員室に戻り、教頭に状況を報告し、保健室にて止血の応急処置を受けた後、りん	
	ご外科医院に行きました。そこで診察してもらったところ、左眼眼挫創12日間の療養と診断	
	され、患部を縫合しました。	
その後、2回の診察を受け、6日目に抜糸をしました。		
* 3 所長 属の証 明局の	1及び2については、上記のとおりであることを証明します。 平成〇〇年 〇月〇〇日 所属部局の { 所在地 亙理町〇〇3丁目1番5号 名 称 亙理町立いちご中学校 長の職・氏名 校長 宮城 太郎	
4 添付する資料名	<input checked="" type="checkbox"/> 診断書 <input checked="" type="checkbox"/> 現認書又は事実証明書 <input type="checkbox"/> 交通事故証明書 <input type="checkbox"/> 第三者加害報告書 <input type="checkbox"/> 時間外勤務命令簿の写 <input checked="" type="checkbox"/> 出勤簿の写 <input checked="" type="checkbox"/> 見取図 <input type="checkbox"/> 経路図 <input type="checkbox"/> 関係 規程 <input type="checkbox"/> 定期健康診断記録簿の写 <input type="checkbox"/> 既往歴報告書 <input type="checkbox"/> X線写真 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 示談書 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
* 5 任命権者の意見	<div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 40px; margin-bottom: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">※福利課で記入します。</div> 平成 年 月 日 任命権者の職・氏名	
印		

公務傷病等診断書

1 被災職員に関する事項（被災職員又は所属の担当者が記載すること）					
所属名	亘理町立いちご中学校	職名	教諭	氏名	亘理 太郎
生年月日	平成 2年12月31日生（〇〇歳） <input checked="" type="radio"/> 男・女				
郵便番号・住所	〒989-2357 亘理町〇〇3丁目1番5号				
災害発生日時	平成〇〇年 〇月〇〇日（〇）午前・ <input checked="" type="radio"/> 午後 5時15分ごろ				
災害発生場所	亘理町立いちご中学校 野球場				
災害発生状況	部活動指導のため、いちご中学校野球場のソフトボール練習場のベンチ前に立っていたところ、フリー打撃練習中の打者のファウル打球が顔面、左眼上部に直撃し、左眼瞼を負傷しました。				
上記災害に関係のある既往病歴	<input checked="" type="radio"/> 無	有	傷病名	発症時期	年 月
			受診医療機関	治癒時期	年 月
			発症原因		
2 傷病に関する事項（医療機関が記載すること）					
初診日	平成〇〇年 〇月〇〇日				
上記災害により生じたものと認められる傷病名	左眼瞼 挫創				
検査結果・臨床所見など	あきらかな視力障害認めず				
療養の見込み	初診日から 約 12日間の療養を要する見込み				
	入院の要否 <input type="checkbox"/> 要（ 日間） <input checked="" type="checkbox"/> 否				
上記のとおり診断いたします。					
平成〇〇年 〇月〇〇日					
〔医療機関〕	所在地	亘理町〇〇7丁目5番1号			
	名称	りんご外科医院			
	電話番号	0223-34-2345			
	医師名	山元 太郎			
					

【地方公務員災害補償基金宮城県支部（022-211-2243）提出用】

※基金から療養補償として支払われる文書料（消費税は非課税）は、認定請求書に添付して基金に提出した診断書（原本）1通分に限りです。したがって、服務上の理由等で取得した診断書等については、被災職員の自己負担となります。

☐ 現 認 書
☒ 事 実 証 明 書

(被災職員の所属) 亶理町立いちご中学校	(被災職員の職・氏名) 教諭 亶理 太郎
(災害発生の日時) 平成〇〇年 〇月〇〇日 (〇)午前・ 午後 5時15分頃	
(災害発生の場所) 亶理町立いちご中学校 野球場	
【災害発生又は証明事実の概要】 私(亶理)が職員室で公務中、当人が来室し、部活動中に飛んできたボールが顔面に当たったとの報告を受けた。当人の顔を見ると左眼瞼上部が約2cm程度切れ出血していたので、すぐに保健室に行き養護教諭に応急手当をしてもらうように話した。当人とともに保健室に行き養護教諭にみてもらい、出血はほぼ止まっていたが病院で診てもらうことを勧められた。私も病院で診てもらうように伝え、町内のりんご外科病院へ連絡をとってもらった。診察が可能ということなので、当人1人で自動車運転をして行くことが可能かどうか確認し、当人が「大丈夫」と応えたので、自力で自家用車を運転し病院に向かい治療を受けさせた。約1時間後に治療を終え職員室に戻ってきた当人から、左眼瞼挫創で患部を縫合した旨の報告を受けた。	

上記のとおり現認しました。
証明します。

平成〇〇年 〇月〇〇日

現認者又は事実証明者 所属(住所) 亶理町立いちご中学校
 職・氏名 教頭 坂元 二郎 坂元

地方公務員災害補償基金宮城県支部長 殿

- (注) 1 現認者がなく、災害発生の報告があったときは、通報を受けた受報の事実を証明してください。
 2 現認者及び証明者の印は私印としてください。
 3 現認者が所属職員以外の場合は、住所又は所属(会社名等)を記入してください。

公務災害（通勤災害）経過報告書

平成〇〇年 〇月〇〇日

地方公務員災害補償基金宮城県支部長 殿

所 属 名 亘理町立いちご中学校

職・氏名 教諭 亘理 太郎

亘理

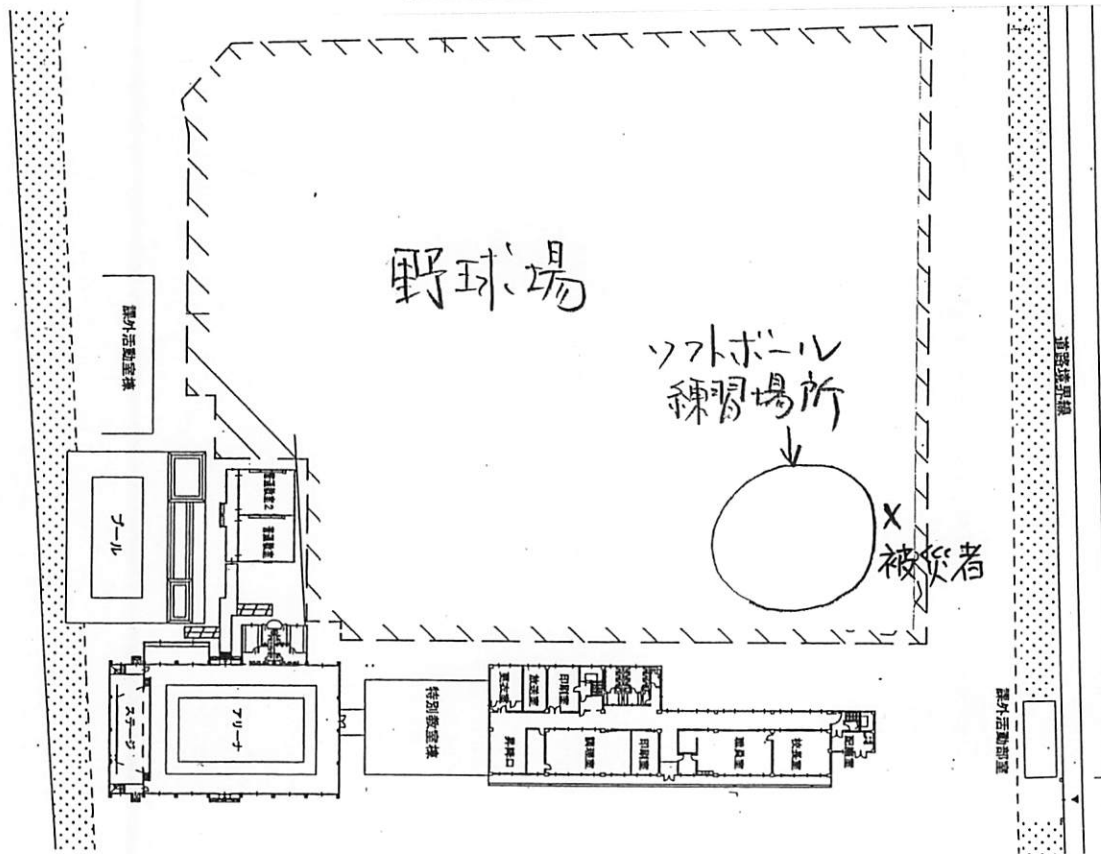
療養の経過等については、下記のとおり相違ありません。

災害発生日	平成〇〇年 〇月〇〇日		
受 診 医 療 機 関 名	りんご外科医院 [TEL0223-34-2345]		
共済組合員 証等使用の 有 無	① 当初から使用していない 2 現在も使用している (理由) 3 (年 月 日) まで使用していたが、その後は使用していない		
症状の推移 (検査内容 結果、治療 内容、主訴 病休状況等 を具体的に 記入)	[初診時から認定請求時までの状況を記入] 平成〇〇年〇月〇〇日 初診 (診断名：左眼瞼 挫創) 平成〇〇年〇月〇〇日 診察、消毒 平成〇〇年〇月〇〇日 診察 平成〇〇年〇月〇〇日 抜糸 平成〇〇年〇月〇〇日 診察 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日 [既に治ゆ (症状固定) した場合は、治ゆ年月日を記入] 治ゆ 平成〇〇年 〇月〇〇日		
入院した場合の利用病室	普通室 ・ 上級室 (個室)		
上 級 室 (個 室) の 利 用 期 間 ・ 利用料金	月 日 ~ 月 日 (日間) 1 日 円	上 級 室 (個室) の 利用理由	
補 装 具 使 用 の 有 無	有 ・ 無		

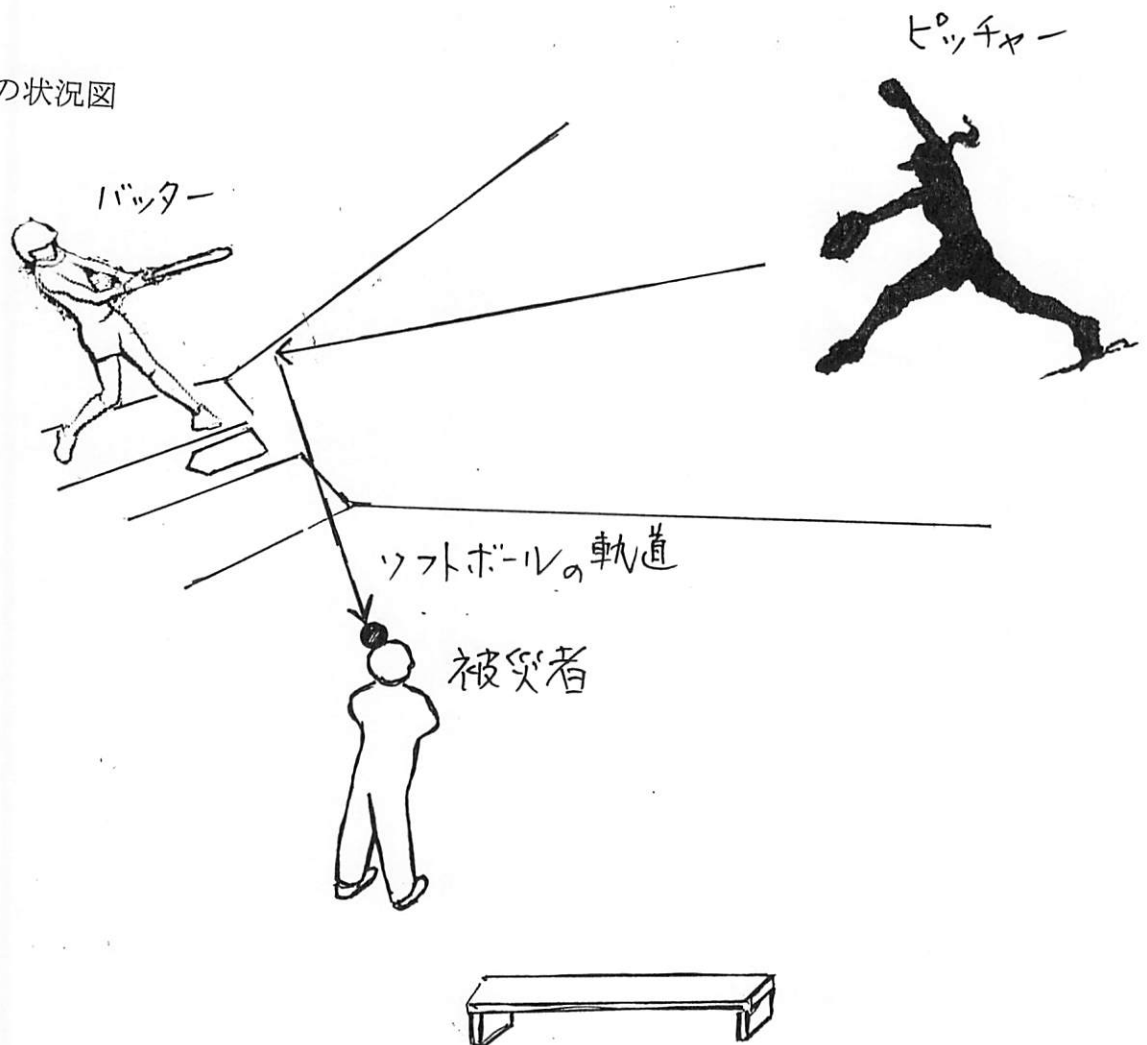
※転医した場合は医療機関毎に作成し、転医理由を症状の推移欄に記入すること。

災害発生現場見取図

※被災職員・現認者の位置関係を「×」で記載する。



被災の状況図



教 職 員 服 務 規 程

第1条 目的

この規程は、関係法規並びに「亙理町立学校の管理に関する規則」に定められている他、本校職員サービスの基本的事項について定め、本校の適正な管理運営を図ることを目的とする。

第2条 勤務の割り振り

本校職員の勤務時間は、次の通りとする。

(1) 勤務時間

8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

8 時間 3 0 分

8 時間 3 0 分 - 4 5 分 (休憩時間) = 7 時間 4 5 分

休憩時間 6 時間を超える場合 4 5 分

(2) 休憩時間

1 6 : 1 0 ~ 1 6 : 5 5 (全職員)

4 5 分

* 業務員について

7 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 休憩時間 - 1 5 : 1 0 ~ 1 5 : 5 5

第3条 出勤簿捺印

出勤した際は、直ちに出勤簿に捺印する。

第4条 出勤・退勤時の勤務

- 1 朝出勤後、責任担当教室及び区域を巡視して異状の有無を確かめる。
- 2 退勤時は、責任担当教室及び区域を巡視し、異状の有無並びに戸締まりを確かめる。
- 3 冬季は、火気取扱責任区域の入火・消火にあたる。
- 4 その他の必要事項について処理する。

第5条 当番

本校教職員は、順番に当番に当たるものとする。その職務内容は、概ね次のとおりとする。

- 1 朝出勤後及び放課後に校舎内を巡視して、異状の有無を確かめる。
- 2 戸締まり・消灯し、学校日誌に必要事項を記載する。

第6条 校外学習

本校教職員が、授業その他の指導のため生徒を校外に引率する場合は、実施計画書に記載し、校長の認可を受けるものとする。

VI 週・日課時程

曜日	タイム	A	／	B	月	火	水	木	金
打合せ		8:30	～	8:35		○		○	
生徒登校			～	8:35					
朝の会		8:35	～	8:45	○	○	○	○	○
移動・準備		8:45	～	8:55					
第1校時	8:55	～	9:45	／	8:55	～	9:40		
移動・準備	9:45	～	9:55	／	9:40	～	9:50		
第2校時	9:55	～	10:45	／	9:50	～	10:35		
移動・準備	10:45	～	10:55	／	10:35	～	10:45		
第3校時	10:55	～	11:45	／	10:45	～	11:30		
移動・準備	11:45	～	11:55	／	11:30	～	11:40		
第4校時	11:55	～	12:45	／	11:40	～	12:25		
昼食	12:45	～	13:20	／	12:25	～	13:00		
昼休み	13:20	～	13:40	／	13:00	～	13:20		
第5校時	13:45	～	14:35	／	13:25	～	14:10		
清掃	14:35	～	14:50	／	14:10	～	14:25		
帰りの会	14:50	～	15:05	／	14:25	～	14:40		
移動・準備	14:35	～	14:45	／	14:10	～	14:20		
第6校時	14:45	～	15:35	／	14:20	～	15:05	学活	総合
清掃	15:35	～	15:50	／	15:05	～	15:20		
帰りの会	15:50	～	16:05	／	15:20	～	15:35		
部活動	帰りの会終了後								

職	教諭	氏 名	亘理 太郎
---	----	-----	-------

出勤簿は請求日まで押印等整理したものの写し

平成〇〇年度

運営機構・校務分掌

校長
教頭
主幹教諭
教務主任
研究主任
生徒指導主事
防災主任
学年主任
第一学年
第二学年
第三学年
特別活動主任
給食主任
保健主事
進路指導主事
道徳主任
特別活動主任
特別活動コーディネーター
司書教諭
教育相談

〔運営委員会〕
◎教頭・校長・主幹教諭・教務主任
・各学年主任・保健主事・生徒指導主事
・特別支援教育主任・研究主任
〔学校保健委員会〕
◎保健主事○養護教諭・校長・教頭
・主幹教諭・教務主任・保健科主任
・給食主任・各校医・PTA会長・PTA副会長
〔就学指導委員会〕
◎特別支援教育主任○教頭・校長・主幹教諭
・各学年主任・生徒指導主事・教務主任
・特別支援コーディネーター・保健主事
・養護教諭・特別支援学級担任
・該当学級担任
〔行事検討委員会〕
◎教務○主幹教諭・特別活動主任
・《校長・教頭》
〔教育相談部情報交換会〕
◎教育相談主任・生徒指導主事・主幹教諭
・学年主任・保健主事・養護教諭・特別支援主任
・特別支援コーディネーター・《校長・教頭》

校長
教頭
職員会

〔教務部〕
〔研究推進・学習指導部〕
〔「志」教育推進委員会〕
〔生徒指導部〕
〔保健・安全指導部〕
〔特別活動委員会・文化祭準備委員会〕
〔調査等作成委員会〕
〔不登校・いじめ対策委員会〕
〔部活動検討委員会〕

教務部
教育計画、教育課程、教育評価
日課、時間割、補充指導割当
学籍
教科書、副読本
表彰、記録
現職教育、校内研修、指導主事訪問
初任者研修
教職経験者研修（5年・10年・20年）
教育実習生指導
新入生関係計画（説明会、一日入学等）
教科指導
国語
社会
数学
理科
音楽
美術
保健体育
技術
家庭
英語
特別支援教育
道徳教育
生徒活動
生徒会・生徒集会
特別活動
部活動
学級活動
進路指導
儀式的
文化的
健康安全・体育的
旅行・集団宿泊的
勤労生産・奉仕的
学校行事
学年集会
総合的な学習
生徒指導部
校内外生徒指導（登下校指導も含む）
教育相談
各種教育
志教育
福祉・ボランティア教育
図書館教育
環境教育
国際理解教育
情報教育（コンピュータ）
視聴覚教育
保健安全
保健教育（保健・健康）
安全教育（防災、交通安全）
学校給食
清掃指導
安全点検
事務部
事務局
学年PTA
地区委員会
広報部委員会
PTA
文化庁委員会
保体部委員会
校外指導部委員会
同窓会
校外指導学校警察連絡会
中学校体育連盟（理事）
学校保健会
郡教研研議員
中学校区校外指導委員会事務局

庶務
諸表簿
文書
調査・統計
福利厚生
諸証明
公費
可費
給与
旅費
交通費
一般会計
総合学習
就学援助費
医療費補助
要学費保護
特別支援教育補助
学校徴収金
生徒会
図書費
学年費
1年
2年
3年
保健整備費
給食費
PTA費
教育振興費
旅行積立金
諸会計
日本スラブ振興センター
PTA安全互助会
募金会計
親和会会計
管理
施設
教室、特別教室
体育館、野球場
校庭、自転車置場
内外部倉庫、部室
水道
電気
ガス
灯油
電話
備品
一般備品
暖房器具
防火用具
清掃用具
保健用具
給食用具
印刷用具
儀式用具
作業用具
教材
視聴覚
教科
部活動
営繕
物品出納、消耗品
掲示・掲示物等
拾得物

部活動指導計画

部活動担当

1. ねらい

- (1) 個々の生徒が持っている興味や関心を追求する活動を体験させることにより、個性の伸長を図るとともに、豊かな興味や特技を育て、生涯学習の基礎づくりを目指す。
- (2) 学級や学年の枠を外し、共通の興味や関心を持つ生徒を持って組織することにより、生徒同士が互いに尊重し合い、協力して楽しく活動できるような望ましい人間関係を作り上げる。
- (3) 活動に当たっては、生徒の自治的・自主的な活動が展開されるように教師が指導・援助し、生徒一人一人の個性の伸長と自主性・社会性の育成を図る。

2 指導上の留意点

- (1) 顧問教師は時間の許す限り練習に参加し、指導するとともに練習時間と練習場所の確保に努める。
- (2) 顧問が練習に立ち会えない時は、他の部の顧問と連携を図って、練習や下校時間等に配慮してもらうように努める。また、部長の生徒と連絡を密に取り、事故防止のために万全を尽くす。
- (3) 年間指導計画を作成し、生徒が自主的な活動を進められるように支援する。
- (4) 活動の際、個人の荷物は活動場所に持っていく、活動終了後、教室に戻らないようにする。
- (5) 活動に当たっては、日没時刻、天候に配慮し、生徒の安全な下校に配慮する。
- (6) 体育館、佐藤記念体育館の使用に当たっては、月ごとの活動割り当て表に従って活動する。

3. 活動期間・時間等

- (1) 月ごとの活動時間は原則として次の通りとする。

月	活動終了時刻	下校時刻
4月～8月	6:00	6:15
5月～郡陸終了まで	6:15	6:30
9月	5:30	5:45
10月	5:15	5:30
11月	4:45	5:00
12月	4:30	4:45
1月	4:45	5:00
2月	5:15	5:30
3月	5:30	5:45

- (2) (1)の時間を超えて活動する場合は、事前に校長に届けて許可を得ること。また同時に、保護者に了解を得ること。ただし、活動時間の延長は大会2週間前からを原則とし、その場合も最大延長をPM6:45、完全下校をPM7:00とする。

部活動顧問一覧

亘理町立いちご中学校

番号	部活動	顧 問
1	陸上	高橋 尚子
2	野球	星野 仙一
3	ソフトボール	亘理 太郎
4	バスケ男子	安達 康
5	バスケ女子	相澤 優子
6	バレー男子	南部 正司
7	バレー女子	眞鍋 政義
8	サッカー	岡田 武史
9	卓球	福原 愛
10	柔道	篠原 信一
11	吹奏楽	稲垣 征夫

亘 学 号 外
平成〇〇年 〇月 〇日

いしご 中 学 校 長 殿

亘理町教育委員会 教育長
(公 印 省 略)

公務災害の認定について (通知)

このことについて、別添のとおり通知がありましたので該当職員に交付願います。

亘理町教育委員会 学務課

担当 ○ ○

TEL 0223-34-0509

FAX 0223-34-7684

公務災害認定通知書（新規）

平成〇〇年〇月〇日

亙理太郎 様

地方公務員災害補償基金
宮城県支部長 村井 嘉浩
地方公務員災害補償基金
宮城県支部長印

公務災害の認定について

平成〇〇年〇月〇日付けをもって認定請求のあった下記の災害については、地方公務員災害補償法の規定に基づき、審査の結果、
公務上の災害と認定したので、通知します。

記

被災職員の所属団 宮城県教育委員会
体及び所属部局名 亙理町立いちご中学校
被災職員の氏名 亙理太郎
認定番号 13-〇〇〇〇
災害発生年月日 平成〇〇年〇月〇日

傷病名
左目瞼挫創

理由

その他

（教 示）

- 1 この決定（以下「本件処分」といいます。）に不服がある場合には、本件処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に地方公務員災害補償基金宮城県支部審査会（以下「支部審査会」といいます。）に対して審査請求をすることができます。

なお、地方公務員災害補償基金を被告とした処分の取消しの訴えは、不服申立ての前置規定（地方公務員災害補償法第56条）により、支部審査会に対する審査請求及び地方公務員災害補償基金審査会（以下「審査会」といいます。）に対する再審査請求をした後でなければ提起できません。

- 2 審査請求に対する支部審査会の裁決に不服がある場合には、その裁決があったことを知った日の翌日から起算して30日以内に審査会に対して再審査請求をすることができます。ただし、審査請求をした日の翌日から起算して3か月を経過しても裁決がないときは、裁決を経ずに審査会に対して再審査請求をすることができます。
- 3 本件処分の取消しの訴えは、地方公務員災害補償基金を被告として（基金を代表する者は地方公務員災害補償基金理事長です。）、再審査請求に対する審査会の裁決があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に提起することができます（裁決の日付から1年を経過すると処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。ただし、①再審査請求をした日の翌日から起算して3か月を経過しても裁決がないとき、又は②再審査請求についての裁決を経ることにより生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるときその他その裁決を経ないことにつき正当な理由があるときは、裁決を経ずに処分の取消しの訴えを提起することができます。また、①本件処分、本件処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき、②その他支部審査会及び審査会の裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき、のいずれかに該当するときは、支部審査会及び審査会の裁決を経ないで本件処分の取消しの訴えを提起することができます。